



第360号

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

発行所／(一社) 静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユ稲川207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／伊藤 喜章 編集責任者／大石 和伸 発行日／2020年3月1日 印刷所／小林クリエイティブ(株)

3月号の内容



- ◆「令和2年度静岡県臨床検査精度管理調査」参加申込み …… 1
- ◆「ベッドサイド実践講習会」中止のお知らせ …… 2
- ◆「第9回静岡県医学検査学会」のお知らせ …… 2~3
- ◆「スタートアップ研修会」終了報告 …… 4~8
- ◆ 会員投稿 …… 9
- ◆ 災害派遣技師研修会参加報告 …… 10
- ◆ 研修会案内 …… 11~13
- ◆ 研修会終了報告 …… 14~17
- ◆ 行事予定 …… 18

令和2年度（第37回）静岡県臨床検査精度管理調査 参加申込み受付中！

静岡県臨床検査精度管理調査は今年で37回目を迎えます。これまで、静岡県医師会が主体となって行ってきましたが、今後は静臨技主体で行います。

このような都道府県単位での精度管理調査は、日本臨床衛生検査技師会臨床検査データ標準化事業の一環として位置づけられています。本調査の趣旨をご理解いただき、多くの施設の参加をお願いいたします。

参加申込期間：令和2年3月2日（月）～3月20日（金）

日本臨床衛生検査技師会のホームページからの申し込みとなります。

参加費支払期限：4月30日（木）

※ 詳細は、2月中旬に静岡県健康福祉部より発送された申込要項をご確認ください。

令和2年度「ベッドサイド実践講習会」中止について（お知らせ）

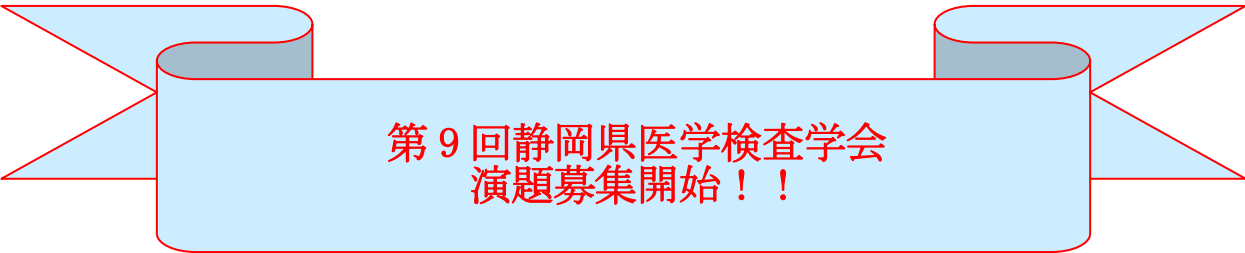
平素は、当会の事業活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標題の事業は平成29年度から、臨床検査技師がチーム医療に積極的に参加するなど、病棟や様々な医療現場で活動できる知識を身につけることを目的に開催しており、昨年度は中部地区（静岡市）、本年度は東部地区（沼津市）で開催し、来年度は西部地区にて開催する予定となっておりましたが、主催元である日臨技より下記案内が来しました。

現在、厚生労働省において「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」が開催され、当会としても臨床検査技師に対して移管可能とする業務を要望しております。このようなことから、当該検討会の検討状況も踏まえて、日臨技事業の見直し等が生ずることも考えられますので、ベッドサイド実践講習会事業については、中止することと致しました。

担当者としては遺憾であり、次回の参加を検討していただいていた皆さまには、大変申し訳なく思っております。次回、同様な趣旨の講習会等開催が決まりましたら是非ご参加ください。

担当理事 羽切 政仁



第9回静岡県医学検査学会 演題募集開始！！

第9回静岡県医学検査学会を2020年6月13日（土）に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催いたします！

会員の皆様から一般演題を2月15日から3月7日まで募集いたしますので、若手から中堅技師の皆様、今後の本格的な学会発表に向けての登竜門として積極的にお申し込みください。

第9回 静岡県医学検査学会

開催要項

【開催日】

2020年6月13日(土) 9:00～16:00頃まで(定時総会を含む)

一般演題・教育講演・ランチョンセミナー等

【開催場所】

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大ホール他

静岡市駿河区馬淵1丁目17番1号 TEL: 054-255-8440

【主催】

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会

学 会 長 : 須田達也(静臨技 副 会 長)

実行委員長 : 羽切政仁(静臨技 東部支部長)

演題募集

会員の皆様から一般演題を広く募集します。若手から中堅技師の皆様に対し、今後の本格的な学会発表に向けての登竜門として積極的にお申し込み下さい。

【演題申込・抄録登録】

① 演題申込期間: 2020年2月15日(土)～2020年3月7日(土)

② 抄録登録締切: 2020年3月28日(土)

【申し込み先】

下記の一般演題申込用紙に必要事項を御入うえ、FAXにて静臨技事務所までお送り下さい。

第9回静岡県医学検査学会 一般演題申込用紙 静臨技事務所 FAX 番号 054-287-4113	
演題名	
発表者	
施設名	
連絡先電話番号	
連絡先メールアドレス	

令和元年度スタートアップ研修会を終えて

組織部 須田 達也（裾野赤十字病院）
佐原 卓夫（浜松医療センター）

2月8日（土）に入職5年目位までの新人技師の皆さんを対象としたスタートアップ研修会を静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で、昨年に引き続き開催しました。2月の寒い中、朝9時の受付開始前より若手技師が会場に来られ、35名全員に最後まで参加いただきました。



午前中は坂根組織部理事（静岡県立こども病院）による「日常・当直業務で困ったことはなんですか？」と題したグループワーキングと発表が行われました。昨年と同様にグループごと理事1名がオブザーバーとして参加し、先輩技師としてのアドバイスしながら、参加者内で悩みや疑問点を振り返り、ディスカッションを重ね、今後に向けた解決案も含めた発表がされていました。

ランチョンセミナーでは日臨技理事でもある直田理事（聖隷浜松病院）と石井組織部理事（NTT伊豆病院）が「技師会について知っておこう」と題し、日臨技・静臨技・技師連盟の組織の目的、体制、活動などについて紹介しました。若手の方々にはまだよくわからなかった技師会や、連盟についての理解を深めていただくことができたようでした。午後からは、アボットジャパンの山田逸枝先生による「知っておこう、効果的なプレゼンテーション」と題した講義では、「接遇コミュニケーションの基礎」と「効果的なプレゼンテーションのポイント」を学びました。まずは、患者や目上の人に対する丁寧語や尊敬語、謙譲語について、こちらの言葉や態度で相手の受け取り方も変わってしまうことなど、コミュニケーションの取り方などの事例を交えて、実際に参加者同士で体験しました。更に、学会発表でも使える、見る人に訴えが伝わりやすい、人をいかに飽きさせずわかりやすく伝えるかといった表現のコツをふまえたプレゼンテーション資料の作り方なども講義いただきました。研修最後を飾る恒例のイブニングセミナーとナイトセミナーは「コミュニケーションを図ろう」と題し、本セミナーの発案者である伊藤会長自身最後の担当で親睦を図りました。研修が進み参加者内でのコミュニケーションもさらに進む中、“明日に役立つ（？）”検査の知識や雑学の出題に苦戦しながらも、この企画開始以来初の100点満点がでたこともあり、大いに盛り上がりました。



本研修会の目的は、同世代の技師間での業務の悩みや問題点の共有、患者への接遇の基本、技師会への理解を深めてもらうことや学会発表を行う上での手法などを学んでいただくことです。もう一つの大きな目的は「県内若手技師のネットワーク作り」もあるのです。研修終了時

にはお互い声を掛け合う姿も見られ、参加して下さった大多数の皆さんからはいろんなご意見をいただきました。『楽しかった！』『勉強になった！』『良かった！』との声も寄せられて、とても嬉しく思います。次年度以降も、この事業を続けていきたいと思っています。

研修会に参加いただきました会員の皆様、朝から夜までの長丁場で大変お疲れさまでした。



浜松医科大学医学部附属病院検査部 小澤 梓

普段はなかなか他施設の方とお話しする機会がないので、今回の研修会で情報や考えを共有でき、とても有意義な時間を過ごすことができました。午前のグループワークでは日常業務や当直で困ったことをそれぞれ出し合いました。経験年数がほぼ同じなためか共通する疑問も多く、上司や先輩とのコミュニケーションが大切であることに気づかされました。午後の研修ではアボットの講師の方から、コミュニケーションの基本から効果的なプレゼンテーションのポイントまで分かりやすく教えていただきました。普段、患者さんに「お大事にどうぞ」と何気なく使っていましたが、流れ作業の印象を与えてしまうと聞いて気をつけていきたいと思いました。

2年目もそろそろ終盤を迎え、漫然とした気持ちで業務を行っている部分もありましたが、研修会を通してできた仲間に刺激を受け新たな気持ちで頑張りたいと思いました。今回はこのような機会をいただき、ありがとうございました。

静岡県立総合病院 柴田竜也

今回、静臨技スタートアップ研修会に参加させていただきました。日常業務の疑問点を話し合い、解決していくなかで、コミュニケーションの大切さを改めて実感しました。特に接遇において、言葉遣いや声のトーンだけでなく、視線や表情など非言語的なコミュニケーションの重要性を学びました。プレゼンテーションの研修では、話す速さや間のバランスで印象が想像以上に変わることを知り、今後のプレゼンで活用していきたいと思います。また、他病院に勤める方々との交流は共感することや刺激を受けることが多く、貴重な時間を過ごすことができました。今回の研修で学んだことを日常業務につなげていきたいと思います。ありがとうございました。

JA 静岡厚生連 清水厚生病院 菊地琴海

今回スタートアップ研修会に参加しました。私の参加したグループでは疑問に思ったこと、困ったことを業務・接遇・その他に分類し、それぞれの解決策を考えました。グループには様々な部門の方がいましたが、担当部門が違っても疑問に思うこと、不安に思うことは似ていて、共感することが多かったです。また他のグループの発表を聞いて、自分のグループでは出なかった意見もあり、とても勉強になりました。イブニングセミナーでは他病院の1、2年目の方とより交流でき、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。今回の研修を通して、若手技師も積極的にコミュニケーションをとって前に行くこと、その大切さを学びました。これからの仕事にも生かしていきたいです。

聖隷健康診断センター 波多野楓

この度、スタートアップ研修会に参加させて頂きました。午前のグループワークでは業務で困っていることについて話し合いました。同じような悩みを共有することができ、自分だけではないんだと少し安心すると共に、どうすれば改善できるかについても話し合うことができました。どの悩みにおいてもコミュニケーションが大切だと改めて気付くことができました。また、当直業務においても意見が出ましたが健診機関で働く私にとって当直業務についてわからない内容も多くとても刺激を受けました。

午後にはコミュニケーションの基礎として敬語やメラビアン の法則について、またプレゼンテーションの基礎について学ぶ事ができました。言葉遣いや声のトーンなど自分が相手に与える印象を考えながら、今後も接遇に気をつけたいと思います。

経験1～2年目の同世代の方々と交流を深めることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。これからも視野を広く持ち、成長できるよう頑張ります。

今回、スタートアップ研修会に参加し、とてもたくさんのことを学びました。

まず、同じ1年目の他施設の同職種の方と話すことで、私と同じ悩みを抱えている人がたくさんいることが分かり、他にもどんなことで困っているのか共有することができました。さらに、それらに対しての解決策を話し合うことで、自施設にはない他施設で取り入れている様々な方法や工夫を知ることができました。また、仕事に慣れていない新人の立場だからこそ気がつくこともあり、私達が意見を言うことにより病院全体が良くなっていくと学び、自分からも積極的に発信していくことが重要であると思いました。

敬語や礼儀についての講義では、患者さんへの正しい対応について学び、今まで自分が間違った敬語を使っていたと気づいたため、日々の業務の中で意識して変えていこうと思います。

今回の研修で、たくさんの人と話して横のつながりもでき、勉強になることがたくさんありました。このように、他施設のことも知っていくことが自分の仕事の向上にもつながると思うので、研修や集まりにはこれからも積極的に参加していきたいです。

今回スタートアップ研修会に参加し、当直、日常業務で困っていることについて話し合いました。私のグループは全員が1年目ということもあり、共感することが多く、私と同じ立場で頑張っている仲間がいるのだと勇気づけられました。また、普段は聞けない他施設の業務内容も聞くことができ刺激を受けました。

コミュニケーションの基礎として、挨拶と言葉遣いについても学びました。私は担当業務が生理検査なので、自分の言葉と態度がどのように患者さんに伝わるのか、改めて考えさせられました。

イブニングセミナーでは、研修会で同じグループではない人たちともたくさんお話をすることができ横のつながりを増やすことができました。1日の研修でしたが、研修会に参加してよかったです。

今回の研修会を通して学んだことをこれからの仕事に活かしていきたいと思います。



1. 研修のねらいについてどれ程度理解できましたか？

1) 「日常業務で困ったことはなんですか？」について

評価	1	2	3	4	5	6
人数(名)	0	0	1	6	17	7

※ できなかった ←1・2・3・4・5・6→ できた

他施設の同年代の技師と情報を共有し解決策を考えることができた。(13名)

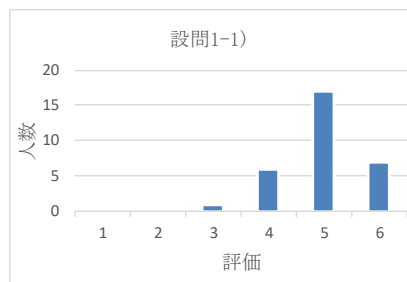
他グループの発表を聞いて多くの解決策を知れた。(3名)

他施設の意見を聞いて積極的なコミュニケーションが大切だと気づけた。(2名)

発表が緊張した。(2名)

グループ活動がチーム医療にもつながると思えました。

まとめるまでに時間が少なく、一人一人の意見をもう少し聞けたら良かった。



2) 「技師会について知っておこう」について

評価	1	2	3	4	5	6
人数(名)	0	0	3	8	12	8

日臨技、静臨技について詳しく知ることができた。(10名)

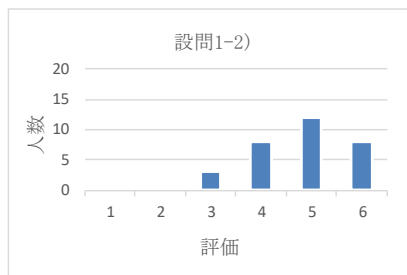
日臨技、静臨技の繋がりがや政治との関わりについて知ることができた。(6名)

自分や職場のためにも政治などにも積極的に関わろうと思いました。

技師会に入っているだけでなく参加していくことが大切だとわかりました。

検査技師の独占業務が成立するように少しでも力になりたい。

難しかった。



3) 「知っておこう、効果的なプレゼンテーション」について

評価	1	2	3	4	5	6
人数(名)	0	0	1	3	15	12

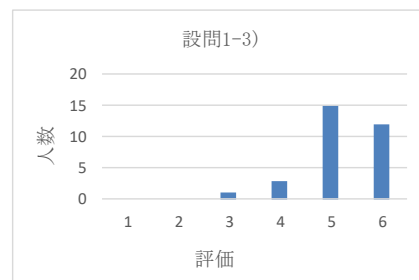
これからプレゼンテーションやスライドを作る上で参考になった。(7名)

実践することでより理解することができた。(3名)

言葉遣いで初めて知ることがたくさんありました。(2名)

患者さんとのコミュニケーションに大切なポイントを学ぶことができた。(2名)

小さな心掛けや積み重ねが印象や理解に大きく変化することを学びました。



4) 「イブニングセミナー」

評価	記載なし	1	2	3	4	5	6
人数(名)	3	0	0	1	4	11	12

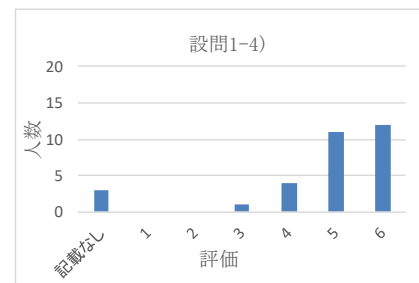
楽しかった。(2名)

横の繋がりが大切だと思った。

いろんな人と話ができて良かった。

リラックスしながら頭を使って楽しめた。

クイズがためになった。



2. この研修で学んだことは、今後どのくらい役立ちますか

1) 「日直業務で困ったことはなんですか？」について

評価	1	2	3	4	5	6
人数(名)	0	0	0	1	18	12

※ 役立たない ←1・2・3・4・5・6→ 役立つ

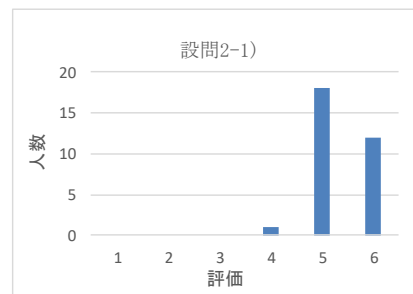
グループで考えた改善策を実践していきたいと思います。(8名)

様々な病院や部署の疑問や解決策について意見を聞くことができた。(3名)

他院のマニュアルを知ることができ参考にできると感じた。

新人ならではの意見を生かすことの大切さを知った。

困ったらすぐに聞いたり聞きやすい雰囲気積極的に出そうと思いました。



2) 「技師会について知っておこう」について

評価	記載なし	1	2	3	4	5	6
人数(名)	1	0	0	0	9	13	8

もっと政治に興味を持とうと思いました。(4名)

インフルエンザ見舞金を初めて知りました。(4名)

医療事故で訴えられた時自身を守るため保険について詳しく知ろうと思いました。(3名)

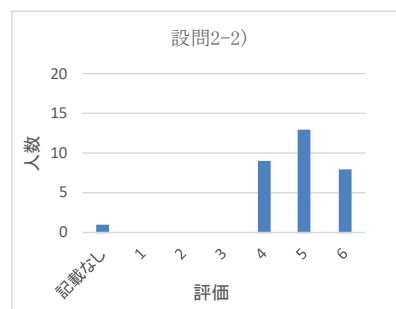
政治にも興味を持ち検査技師の未来を考えようと思えました。(2名)

検査技師として働いていく上で技師会の活動が大事なことがわかった。(2名)

これから積極的にホームページを開いて技師会情報を得ようと思いました。

今まで何気なく読んでいた会報ももっと深く細かく読んでみようと思いました。

参加できる講習会には積極的に参加したい。



3) 「知っておこう、効果的なプレゼンテーション」について

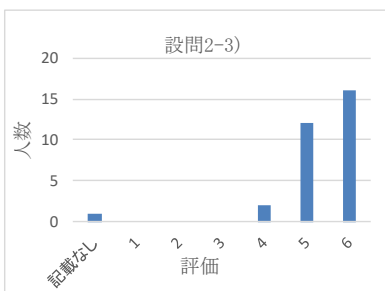
評価	記載なし	1	2	3	4	5	6
人数(名)	1	0	0	0	2	12	16

今後の発表の機会に活用したい。(9名)

言葉遣いなど日常業務に活用していきたいと思ったから。(2名)

患者さんとのコミュニケーションの取り方を見直すきっかけとなりました。(2名)

スライド作成上の注意点を理解できた。



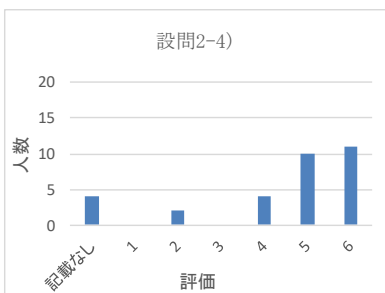
4) 「イブニングセミナー」

評価	記載なし	1	2	3	4	5	6
人数(名)	4	0	2	0	4	10	11

楽しかった。(6名)

他病院の方々と仲良くなれたのできっと役立つと思います。(3名)

今日の繋がりを次の機会に活かしていきたい。



3. その他気づいたこと、感じたことがあれば書いてください。

接点が無かった同世代の方々、他部署を経験しているの方々と話すことができ学ぶことが多かったです。

横の繋がりが出来、嬉しかったです。

プログラムはこれから活かせる内容のものばかりで学ぶことが多かったです。

オブザーバー理事もディスカッション促し自分達の考え、意見が出るようアドバイスして頂き助かりました。

同級生や他施設の技師と交流でき有意義な時間を過ごせました。



私の趣味は日本酒のラベル集めです

市立島田市民病院 小川剛汰

居酒屋で様々な地方の日本酒を飲むことはもちろん、地酒を飲み、酒蔵を回り、そこでしか買えない日本酒を購入し、家に帰って飲みながら余韻に浸る。そうして日本酒に触れているうちに、ラベルへの関心が生まれてきました。日本酒には、様々な意匠を凝らしたラベルが貼られ、それぞれの存在感を放っています。あるものは「和」を強調とした趣のあるデザイン、あるものはワインのように洒落た雰囲気、その他にもパンチのきいた斬新な銘柄のラベルもあります。

そういったラベルを集め始めたのは2年ほど前からですが、ある日入った居酒屋で、日本酒のラベルが額縁に飾られているのを見つけました。これなら綺麗に保存でき鑑賞もできると思い、早速今までのラベルを整理し、インテリアとしてまとめてみました。まだまだ、まとめきれっていませんが、日本酒の別の楽しみ方がそこにはありました。

皆さんも日本酒を買う際には、中身だけでなくラベルにも注目してみると面白いかもしれません。



災害派遣技師研修会に参加して

富士宮市立病院 勝又隆子

今回、日臨技主催の「災害派遣技師研修会」に2日間の日程で参加させていただきました。

災害時のボランティアには支援と受援があり、今回支援についての講義、発災時の机上シミュレーションのグループワーキングを受けました。

ポイントはいくつかあります。まず現地に入る時は自分の食糧、その他の日常品はすべて持ち込む。これは現地での調達是不可能であること、常に現地の人に迷惑をかけない精神が大事です。また現地での言動は十分に注意する。あくまでもボランティア精神が大前提で、くれぐれも派遣で来てあげているという気持ちや態度は絶対にタブーです。この点は気を引き締めて現地での活動中は常に意識していかなければいけないとの事でした。実際現地に入ったら指揮系統が確立しているので、基本必ずその指示に従う。最初は各避難所の状況把握を行い本部に状況を伝達する事がほとんどで深部静脈血栓症（DVT）の対策として弾性ストッキングを配布するなど本来の検査技師の仕事ができないことの方が多いとの事でした。

そして何より一番衝撃的な事は、放射線技師や理学療法士の団体は医療支援団体として認可されているのに臨床検査技師は団体として認められていないという事実でした。そのため派遣技師は、臨床検査技師をアピールするためビブスを着て活動するなどして知名度を上げる努力をしています。

1 グループの活動は精神的にも肉体的にも長期滞在は不可能なのでいくつもの支援団体に引き継ぐことが重要です。そのためにもしっかりと有益な情報を伝達して臨床検査技師の有用性をアピールすることが不可欠です。

今回の研修会はいろいろ初めての事が多く大変有意義なものでした。今後は是非若い方にも参加していただき、実際の現場を体験していただきたいと思います。

臨床検査関連研修会・講習会(1)

2020年2月15日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。
各研修会の詳細については、別紙の【研修会案内】をご確認ください。 2020年(3)(敬称略)

<日 時> 2020 年 4 月 18 日 (土) 14 : 00～16 : 00 <会 場> 独立行政法人 静岡県立総合病院 6 階つつじホール講堂 <受講料> 会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円 事前申し込みの必要はありません。直接会場にお越しください。	令和2年度 第1回 生物化学分析部門研修会 【テーマ】 新人技師からベテラン技師まで納得出来る内容・知識を習得する。 【内 容】 講演 1 14 : 00～14 : 50 『Lean コンセプトに基づいた検査室の業務効率化』 演者：ラボソリューション事業部ラボシステム部 ラボコンサルグループ 赤松 康宏氏 休憩 14 : 50～15 : 00 講演 2 15 : 00～16 : 00 『血液ガス分析装置の基礎』 演者：ラジオメーター株式会社 MA&GA 長谷川 剛氏 新人技師からベテラン技師まで納得出来る内容を網羅し日常業務だけでなく緊急検査業務でも役立つと思います。日常業務に起こりうる様々な事例を紹介し急に直面した場合にでも素早く対応できる様に知識を高めておく必要があります。院内に向けて発信するアピールポイントの機会にもなりますので是非ご参加下さい。 ※県立総合病院駐車場の駐車券を無料措置しますので提出して下さい。	No. (200000518) 専門-20 点 <主 催> 一般社団法人 静岡県 臨床衛生検査技師会 <協 力> 独立行政法人 静岡県立総合病院 <問合せ先> 生物化学分析部門 磐田市立総合病院 臨床検査技術科 春口 公哉 TEL 0538-38-5000 (内線 2710) iwata-seikagaku@key.ocn.ne.jp jp
---	---	---

臨床検査関連研修会・講習会(2)

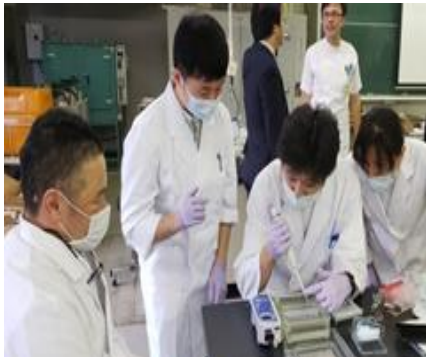
<日 時> 2020 年 5 月 16 日 (土) 14 : 00～16 : 10 <会 場> プラサヴェルデ 301・302 会議室 沼津市大手町 1-1-4 電話 055-920-4100 <受講料> 会員 1,000 円 非会員 2,000 円	2020 年度 第 1 回 臨床生理部門研修会 【テーマ】 負荷心電図・ホルター心電図研修会 【内 容】 13 : 30～ 受付 14 : 00～15 : 00 負荷心電図 (安静時心電図含む) 知って役立つ 負荷心電図検査の ABC 講師 : 医療法人社団 宏和会 岡村記念病院 石田 誠司技師 15 : 10～16 : 10 ホルター心電図 講師 : 日本光電株式会社 西原 光二氏 負荷心電図の基礎とホルター心電図の解析のコツについてご講演いただきます。負荷心電図の講演では安静時心電図の基礎についてもお話しいただけるので、心電図をこれから始める方も是非ご参加ください。 <申込み> 定員 : 150 名 申込方法 : 日臨技ホームページの会員専用ページから事前参加登録を行ってください。(ホームページからの登録が困難な方、もしくは非会員の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。) 申込期間 : 2020 年 3 月 23 日 (月) ～2020 年 5 月 13 (水) 定員に達し申込みができない場合、右記問い合わせ先にご相談下さい。	No. (200000530) 専門-20 点 <主 催> 一般社団法人 静岡県 臨床衛生検査技師会 <問合せ先> 臨床生理部門 米山 富江 三島総合病院 臨床検査部 TEL : 055-975-5545 Email : kensa- s@mishima.jcho.go.jp
--	--	---

臨床検査関連研修会・講習会(3)

<日 時> 2020 年 5 月 30 日 (土) 14 : 00～17 : 00 (受付 13 : 30～) <会 場> 静岡市立静岡病院 12 階 講堂 <受講料> 会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円 事前申し込み不要。 当日、直接会場へお越しください。	2020 年度 第 1 回 臨床血液部門研修会 【テーマ】 まずは血算から始めよう！ 【内 容】 1. 血算の基礎 ～見方・考え方～ 沼津市立病院 臨床検査科 杉澤きよ美 技師 2. 緊急検査としての血算からどう診断するか ～実症例を交えて～ 浜松医療センター 血液内科 一戸宏哉 医師 3. 静臨技精度管理調査（血液像）における標本観察のポイント 浜松医療センター 臨床検査技術科 渡邊正博 技師 今回は、まずは血算から始めよう！をテーマに血算を軸とした講演をお話しいたします。血算はどう読み解けばいいのか、臨床医はどこに注目して診断を進めるのか、基礎を身に付けて、実際の患者データを読み解く力に繋げましょう。これから血液検査に携わる方や新人の方だけでなく、日当直でしか携わらない方、ベテラン技師でも基礎からしっかり復習したい方など是非ご参加ください。	No. (200000619) 専門－20 点 <主 催> 一般社団法人 静岡県 臨床衛生検査技師会 <協 力> 静岡市立静岡病院 <問合せ先> 浜松医療センター 臨床検査技術科 渡邊 正博 TEL : 053-453-7111
---	---	--

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい。
台風など天災の影響により開催が危ぶまれる場合も、必ずホームページでご確認ください。

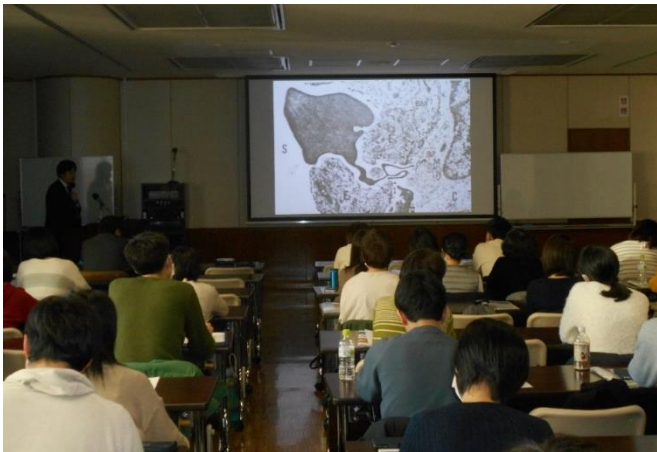
研修会 終了報告

事業名	令和元年度 第1回微生物検査部門研修会
開催日	令和元年 12月 21日 (土)
会 場	浜松医科大学 講義実習棟 3階 基礎医学・物理第一実習室
参加人数	21人
内 容	テーマ：POT法および核酸クロマトグラフィー法の実習 実習1：POT法 実習2：核酸クロマトグラフィー法 【POT法】 POT法は、従来のパルスフィールドゲル電気泳動と異なり、短時間で容易に菌体間の相同性を比較する方法です。約4時間で分子疫学解析が可能であり、汎用のサーマルサイクラーと電気泳動槽が準備できれば測定できるため、近年導入する施設が増えています。今回は、細かな手技や泳動パターンの解析方法など経験豊富な技師により指導いただきました。今後の日常検査において活用できると思われました。   核酸クロマトグラフィー法を応用したチップを用いて行う食中毒菌検出キットについて実習を行いました。糞便プール検体（～50検体）から直接遺伝子検査ができ、1チップで検出対象遺伝子は、VT1,VT2,ipaH,invA で、省力化を可能とした検査法でした。糞便検体数により導入が難しいところもあるようにも思えました。

事業名	令和元年度 初級・職能開発講習会
開催日	令和2年1月26日（日）9時30分 ～ 1月26日（日）16時00分
会 場	磐田市立総合病院 周産期母子医療センター1階 講堂
参加人数	42人
内 容	日臨技では平成29年度より卒後3年から10年の臨床検査技師を対象に、早い段階から臨床検査並びに医療を取り巻く環境の変化等を的確に把握し、時代を先取りできる医療人、職能人としてのスキルアップを図る講習会を開催しています。静臨技でも今年度は西部で開催しました。 会長講話（放映）では、日臨技 宮島喜文会長より「医療現場が求める臨床検査技師像－医療情勢と今後の方向性について－」、基調講演では、日臨技 横地常広副会長より「多様なニーズに対応できる医療人としてのスキル」をテーマにご講演いただきました。今回受講された若手～中堅のこれからの未来を担う検査技師に向け、国の医療構想・AI・がんゲノム医療・在宅といった医療情勢の変化に対し我々は何をすべきか、病院経営にどう参画するか、なぜ現状維持ではだめなのか、専門職として自ら考え企画・提案できる土壌ができているかなど熱いメッセージを頂き、受講生が真摯に受け止めていたのが印象的でした。 グループワークでは、人材育成・スタッフの意識改革・効果的なコミュニケーションのとり方等についてディスカッションし、自ら意見を持ち伝えることの重要性についても実感していただけたと思います。今後常に時代に合わせて自身の職能を生かし変化し続けられる臨床検査技師を目指し、一歩前に踏み出すためのモチベーションに繋がる講習会でした。



事業名	令和元年度 第2回 病理細胞部門研修会
開催日	令和2年 2月 1日 (土)
会 場	静岡赤十字病院 2号館4階 第1会議室
参加人数	59人
内 容	”病理検査のスキルアップを目指して”というタイトルの下、病理検査の環境対策、ゲノム時代における免疫染色精度管理、薄切の基礎から実践という内容で研修会を開催した。日常の仕事で遭遇している身近なテーマに対し多くの方よりご参加いただき関心の高さを認識した。講演1では日々取り扱っているホルマリン、キシレンなど有機溶剤に対し作業環境の適切な維持、管理方法などを学ぶことができた。講演2では、免疫染色の適正なコントロール標本の選定方法、プロトコルの検討方法などを学んだ。講演3では、薄切について日常遭遇するトラブルシューティングについて科学的に学ぶことができた。 

事業名	2019年度 第3回静岡県臨床一般部門研修会
開催日	令和2年2月1日 (土) 14:00~17:00
会 場	静岡産業経済会館 3階 第1会議室
参加人数	39人
内 容	第1講演では、最近開始になった新規検査項目「カルプロテクチン」について講演して頂きました。カルプロテクチンは潰瘍性大腸炎のマーカーとして使用され、まだ検査項目として取り入れている施設は少ないようでした。第2講演では、スクリーニング検査としての尿検査の重要性として、症例を交えて尿定性検査での病態把握や尿沈渣形態検査での考え方などを分かりやすく講演して頂きました。また、臨床へのアプローチの仕方や付加価値のある情報の伝え方なども教えて頂きました。講演終了後、講師の先生に質問している参加者の姿も見受けられました。 

事業名	2019 年度 第 4 回 臨床生理部門研修会 心電図を透かして心臓を診る
開催日	2020 年 2 月 2 日 (日)
会 場	プラサヴェルデ 301・302 会議室
参加人数	122 人
内 容	今年度最後の臨床生理検査部門研修会を東部地域で開催し、「心電図を透かして心臓を診る」と題し、小児不整脈治療の専門医である静岡県立こども病院循環器科の芳本潤先生にご講演頂きました。 前半では、刺激伝導系の仕組みや心電図波形の成り立ちといった総論、後半では不整脈の疾患ごとの基礎から治療薬までといった各論を、解剖学や発生学の観点も含めてお話し頂きました。教科書より少し踏みこんだ中級・上級者向けのご講義でしたが、様々な動画や楽しい例え話をたくさん盛り込んで頂き、大変わかりやすい内容でした。理解が難しかった心筋細胞の興奮とイオンチャネルの仕組みでしたが、アニメーションによってシンプルに考えることができました。 先生のお言葉でもあったように、心臓を波としてみるのではなく、形として、動いているものとしてみるといった意識で、日常臨床でも心電図理解を深めていこうと思いました。  
事業名	2019 年度 第 20 回 静岡血液フォーラム
開催日	令和 2 年 2 月 2 日 (日)
会 場	グランシップ 交流ホール
参加人数	159 人
内 容	今年も県内外から多くの研修会参加者を迎え、第 20 回という節目の会を開催することができました。岡山大学の佐藤教授にはリンパ腫の基本知識やフローサイトメトリー、免疫染色の見方さらには、WHO 分類の最新情報までご教授いただきました。金沢医科大学病院の大川技師からは、臨床に直結するような症例をご提示いただき、具体的に解説していただきました。三重県立総合医療センターの和田教授には、APTT 波形解析の有用性についてご説明いただきました。血液検査担当技師に求められる基礎から専門的な知識について幅広く学ぶ有意義な研修会になりました。 

2020 年 3 月・4 月・5 月の行事予定

2020 年

3 月

11 日（火）第 3 回常務理事会、第 8 回理事会

: 静臨技事務所

28 日（土）静臨技 学術部門長会議

: あざれあ

4 月

8 日（水）令和元年度 業務及び会計監査

: 静臨技事務所

8 日（水）静岡県臨床検査精度管理委員会

: 静岡県医師会仮事務所

18 日（土）令和 2 年度 第 1 回 生物化学分析部門研修会

: 静岡県立総合病院

25 日（土）～26 日（日）第 69 回 日本医学検査学会

: 仙台国際センター 他

未定 令和 2 年度 第 1 回理事会

: 静臨技事務所

5 月

16 日（土）令和 2 年度 第 1 回 臨床生理部門研修会

: プラサヴェルデ

30 日（土）令和 2 年度 第 1 回 臨床血液部門研修会

: 静岡市立静岡病院

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）大石和伸まで。E-mail : ooishi.kensou.kensa@gmail.com

本報（抜粋カラー版）をホームページに掲載しましたので是非ご覧ください。

☆ 求 人 情 報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒432-8580 浜松市中区富塚町 328 浜松医療センター 臨床検査技術科 佐原卓夫まで。

E-mail : osigoto@samt.or.jp TEL : 053-453-7111（内線 8421）

情報変更の手続き等について

新入会登録 や、 会員情報・登録施設情報（名称・連絡先）に変更がある場合、日臨技へ申請をお願いいたします（日臨技 HP；入会・退会・会員情報の変更参照）。

責任者・連絡責任者・施設連絡用 E-mail アドレスを登録・変更する場合、静臨技事務所へ連絡をお願いいたします（静臨技 HP；各種申請書を参照）。

静臨技賛助会員入会申請 や、 賛助会員情報（担当者・連絡先）に変更がある場合、静臨技事務所へ連絡をお願いいたします。

問合せ先：（一社）日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（担当：組織部）

TEL : 054-287-6337 FAX : 054-287-4113 E-mail : samtjim@samt.or.jp

2020 年 3 月吉日